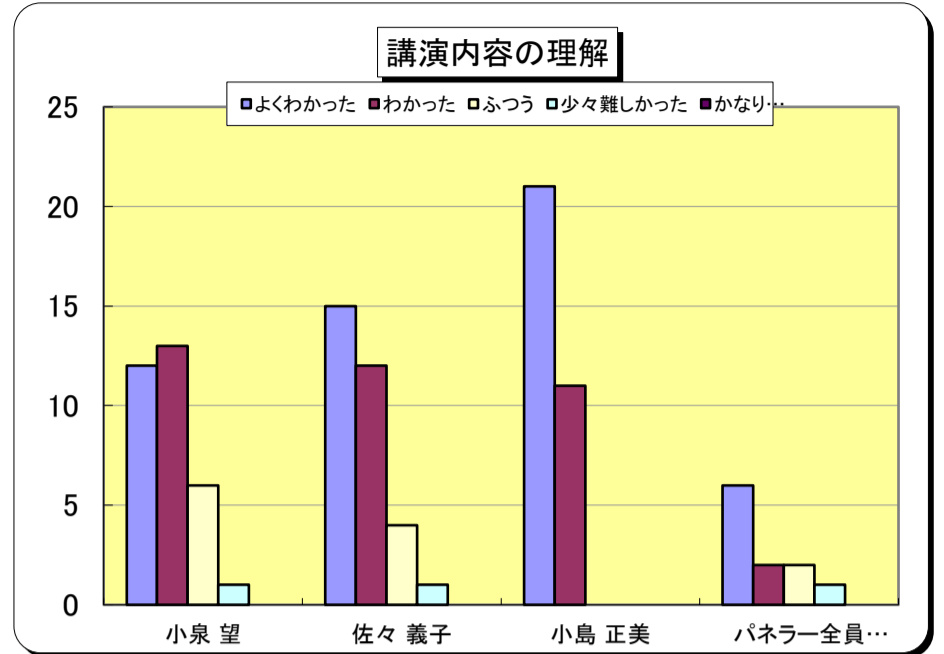
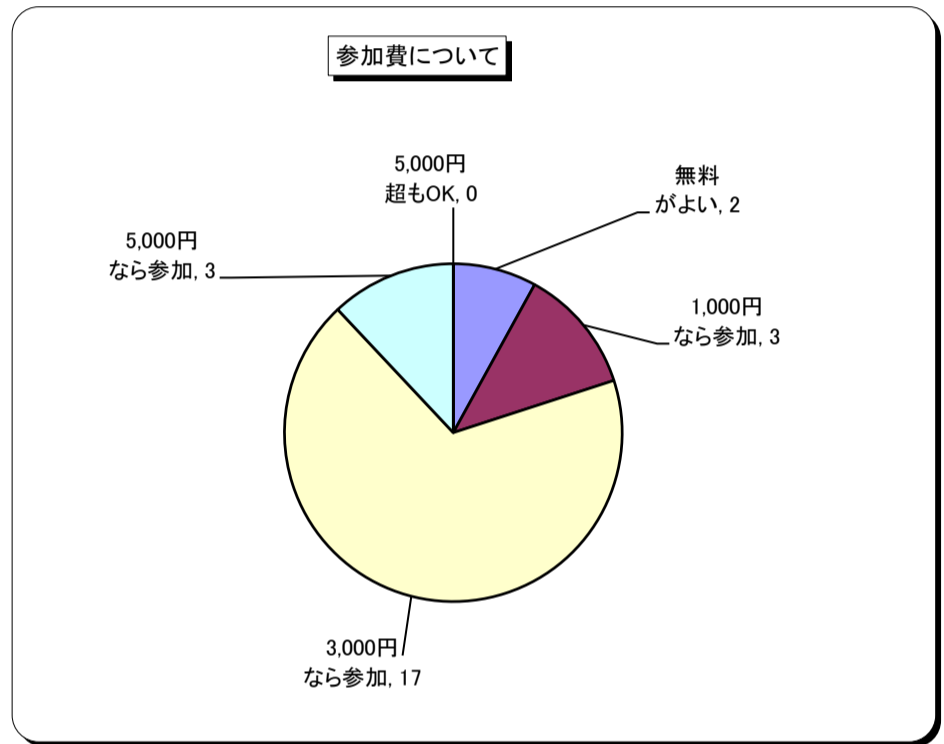


アンケート回収数32枚(参加者:52名、演者4名を除いた回収率:67%)

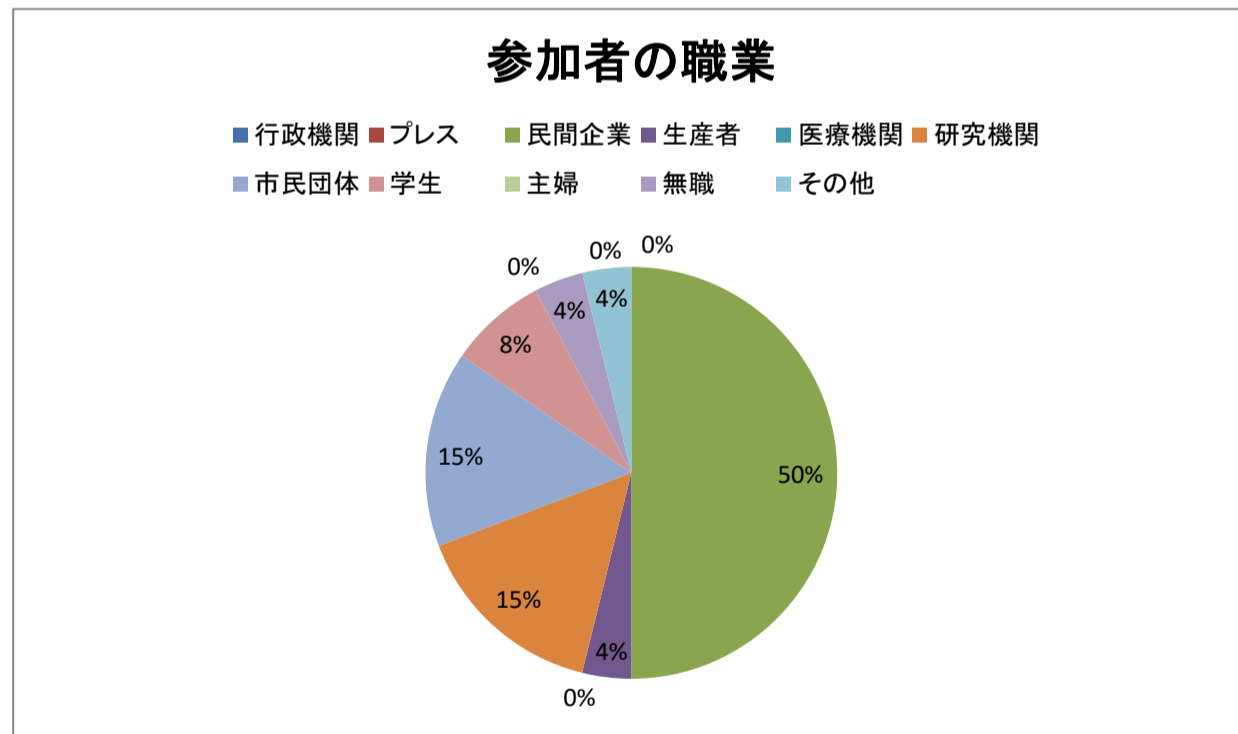
No.	テーマ	講師	よくわかった	わかった	ふつう	少々難しかった	かなり難解
1	リスクのないリスクは難しい	小泉 望	12	13	6	1	0
2	遺伝子組換え食品の表示をめぐる課題	佐々 義子	15	12	4	1	0
3	新しいテクノロジーの受容は、いかに進むか~国民の理解は必要か?	小島 正美	21	11	0	0	0
4	パネル・ディスカッション:『遺伝子組換え作物のリスクのあり方』	パネラー全員 進行:山崎	6	2	2	1	0



	無料がよい	1,000円 なら参加	3,000円 なら参加	5,000円 なら参加	5,000円 超もOK
今回のフォーラムの参加費(NPOへの賛助)についてどう思われますか?	2	3	17	3	0
今回のフォーラムについて、率直に思われたことを何でもお教えてください。	(別紙)				
今後、食の安全・安心の分野で、どのようなテーマのシンポジウムを希望されますか?	(別紙)				
消費者市民のリスクリテラシー向上につながるリスクミのために、いま何が必要でしょうか?	(別紙)				
当NPOから季刊誌を発行しておりますが、無料購読を希望される方はあて先(郵便番号・住所・氏名・所属機関等)をご記入ください。	(別紙)				
当NPOからメルマガ(ご案内メール)を不定期に発行しております。無料購読を希望の方はメールアドレスをご記入ください。	(別紙)				



職業	
行政機関	0
プレス	0
民間企業	13
生産者	1
医療機関	0
研究機関	4
市民団体	4
学生	2
主婦	0
無職	1
その他	1



1	リスクのないリスコミは難しい	小泉 望
1	「主観リスク」との考え方は、よくわかった。	
3	遺伝子組換えのリスクが主観であることと聞いて、今までと考え方が変わった。正しい知識をもった上で考えてもらえるよう、遺伝子組換えをもっと伝える場が必要だと思った。	
4	客観的で科学的な説明で判りやすかった。	
6	テーマのタイトルそのままに、難しいですね。	
7	客観的リスクだけでなく主観的リスクについて、教育の場では、きちんと説明しなければならないと思いました。難しいと思いますが。	
10	率直な話し方で好感。組換えのベネフィットは充分に理解出来ましたが、リスクには”もやっ后感”が残る。	
12	「遺伝子組換え植物について知ってください」は有用な資料。一般人への資料として最善と思う。	
14	すでにこれだけの遺伝子組換え食品が世の中に広まっている中、大変参考になりました。	
15	自分の考えと合致するところが多く共感できた。	
16	「リスクのないリスコミは難しい」という題でしたが、難しさはリスコミをしている人たちならば、皆感じていることで、ではどうしたら良いのかについて先生のお考えが良くわからなかった。具体案などをお聞きしたかった。	
17	聞きとりにくかったかな。	
18	内容の伝え方に、もう少しメリハリをつけていただくと、もっとわかりやすかったと思います。	
20	学術的にGMがどういう位置にあるのか理解できた。	
21	GMのリスコミについて共感しながら、お聴きました。	
23	主観リスクの概念は今後有益だと思う。リスコミというより①事実の認知、②世界観の違いの話題で対策も異なるのでしょうか。	
28	主観リスクの原因についても、もう少し掘り下げて話していただきたい。主観リスクという言葉は初めて聞いた。先生の研究内容を、もう少し聞きたかった。	
29	共感、同感ですが「現実、食べている事実」をまず知らせること、どうすれば良いか。	
32	図や写真が多くスライドに入っているのが分かり易かったです。科学技術を分かり易く伝えることの重要性を感じました。	

2	遺伝子組換え食品の表示をめぐる課題	佐々 義子
1	元々、わかりづらい表現であるので、消費者に理解を求めるのは難しいと感じた。	
3	食品の表示について、今まで勘違いをしていた。表示については自分から調べることが無い限り、理解することはできないため、学校教育で教えるべきだと感じた。	
4	具体的なアプローチのお話、大変参考になりました。特定集団には説明しても理解させられないと考える。	
6	表示のための表示について、行政の対応に疑問です。	
7	主観的リスクについて、どのように受け止めるか、表示の影響をうける事がよくわかりました。	
10	話題が多くて少し消化不良。食品安全モニターの経過(変化)は興味深い。	
12	多くの情報(データ)は参考になった。	
14	遺伝子組換え食品をSDGsの観点や食べ物を無駄にしない視点から議論されたい意見には大変に同意賛同です。	
15	「遺伝子組換えを含まない」表示が逆に組換えの危険イメージを増やしている点が興味深かった。	
16	佐々さんのお話を伺って、小泉さんのお話されたかった事が少しわかった。佐々さんのお話は非常にわかりやすく、考えるきっかけになるポイントが多かった。	
17	分かりやすかった。	
18	わかりやすい事例を多く取り上げられており、理解しやすかったです。	
20	世の中の意識についてよく理解できたが、このデータをどのように活用したかを知りたかった。	
21	GMの情報提供は今後とも頑張ってください。	
23	帰納的アプローチで「説得」から「納得」への道ということが、よくわかった気がします。	
26	最近、遺伝子組換え食品への関心が薄いと感じていたが、その通りであったことを認識しました。	
28	分かり易くよかった。どちらかというと一般市民に近い意見(目がさめた市民)	
29	我々の考えるレベルでなく(米国の産地の区分の実態、米大陸の栽培実態)	
31	表示について、心理学と平行して	
32	話の内容が分かり易かった。図表の文字がもう少し大きいとより読み易いと思います。	

3	新しいテクノロジーの受容は、いかに進むか～国民の理解は必要か？	小島 正美
1	伝え方のむずかしさ、正確な情報を伝える事が大切である。	
3	記者の立場からの考え方を知ることができて勉強になった。どんな情報も、ただ受け入れるだけでなく、自分で真偽を考えるべきだと思った。	
4	小泉氏、佐々氏に質問しようと思っていた事が、小島氏の話ですべて解決した。毎日元記者がこれまで話してくれた事、感銘。	
6	記者として自身の話をリアルにお話いただき、よくわかりました。	
7	ホットセグメントに働きかけることが重要という事がよくわかりました。	
10	認知は自分の利便性に直結するかどうかということですね。(完成PPもアップしてください)	
12	明解。	
13	”生まれたなら持っている遺伝子をいじるべきではない”といった考えの人も多くいるのははないでしょうか？害がある・ない以前に	
14	GM作物はスーパーでもなんでもないこと、事実を知らない事が大先生でも間違ふなど、大変参考になる内容でした。	
15	反対の人達はずっと変わらないという点は重要だと思った。	
17	いつもどおりで楽しい。	
18	いかにマスコミが偏ったスタンスで報道をし、一般の人も自分に都合のよい内容を信じるかという事を再認識できました。	
19	以前から菜果フォーラムの記事で存じ上げていたので、興味深いお話でした。お聞き出来てよかったです。	
20	伝え方のヒントが理解できた。	
21	ものの見方について、とても興味深く聴きました。	
23	リーダーシップの必要性、アプローチのキーセグメントの概念は興味深いです。日本企業が世界と戦うには業界再編が必要です(別件ですが)。	
26	実体験にもとづいたお話で、大変興味深く聞けた。	
28	個人の感情と信条を述べすぎではないか。おもしろかったです。	
31	記者だからこそ見えてくる世界や考えの変わり方を知ることができて非常に面白かったです。北海道教育大学で、是非、将来教員を目指している学生たちに講話をしに来ていただけたらなあと切に思いました。	
32	実体験を基に話をしてもらえたので、とても分かり易かったです。またジャーナリストの視点や心理がよく分かり、大変興味深かったです。	

4	パネル・ディスカッション：『遺伝子組換え作物のリスクのあり方』	パネラー全員 進行：山崎
4	小島氏の講演が主観的リスクへのリスクの名解答	
10	本日は特に盛り上がっていた。安心情報も浮動票(無関心派)をいかに味方にするかですね。	
15	様々に意見が出て良かった。	
16	少しご自分の考えを押しつけ過ぎの傾向があるかと。少ししゃべりすぎでは？	
17	けっこう盛り上がった。	
20	話が「消費者⇄一次生産者」のみで、製造加工業者の立場が無視されている感があった。⇒三者一体でのリスクが必要ではないか？	
23	GMIにはSDGsは追い風のはずかと。人工減少もインセンティブ(北海道など)です。	
26	パネラーとの質疑応答が活発であり、良かった。	
32	今回の3人の講師の方々、普段から一般の人々に話をされていることもあり、皆さんとても分かり易かったです。	

5	今回のフォーラムについて、率直に思われたことを何でもお教えてください。
2	パネルディスカッションが内容も豊富でテンポも良く、興味深かったです。
3	このようなフォーラムは多くの方が参加すべきだと思う。未来の社会を担う子どもたちを教育する教員を目指す学生はなおさら、事実・現状を知って学び、考えるべきであると感じた。
4	ノイジーマイノリティへの説明説得は不可能、サイレントマジョリティへ根気よく説明する必要性を感じた。多くの消費者はGMOに対して漠たる不安を持っているだけである。
6	関心のあるテーマであり、面白かったです。
7	なかなか興味深い内容で、大変参考になりました。
9	遺伝子組換えの理解が深まった。消費者がGMIにどれだけ依存しているかを理解してもらうことが今後のGMの普及に影響すると思います。
11	科学コミュニケーションだけでなく、現場の声or受け手の声も紹介する討論の場を設定すると面白い。
13	事実と一般消費者が考えている認識には大きな差があるという事、思ってもみませんでした。
14	遺伝子組換え作物の世界での栽培情報など事実認識が広がり(私の知らない事実もあり)本当に参考になったことと、加工食品の中に消費者や生活者に抵抗して利用していくには、企業としても上手く展開することが名案と大いに感じた。
16	小泉先生の「リスクのないリスコミは難しい」はまさに、その通りだと思う。が、日本人はリスクとベネフィットの考え方が苦手で、食品や医療の事など、きちんと正しく知る、勉強する事がない(機会が少ないなど)。その日本の消費者を相手にいきなりリスコミはやはり難しいのかなと。だから確信犯のような反対派の意見や行動に左右されてしまうのかもしれない。
18	とても中身の濃い良いフォーラムでした。ありがとうございます。
19	GM作物の日本人への受け入れが肯定化されていくメディアの話はもっと深く継続協議の内容だと思いました。
22	リスクコミュニケーションの基本的考え方
23	もう少しのところで原理的なセオリーに近づいてきたと思います。エビデンスは十分で「なぜ反対するか」「対応は」の論理が整理されてきた感じです。
24	GMOに対する一般人の関心はほとんどなくなっていると感じている。まき返すには、良いタイミングでは(アレルギー対応の上市とか)
25	前回と今回参加しました。リスクコミュニケーションもコミュニケーション。消費者との関係では「共感」が大切だと思った。異なる意見を排除しないことを徹底すること。確信犯に対しては、勉強不足をきちんと指摘する必要があると思った。
27	小泉先生のおっしゃっていた通り「リスクが無いもののリスコミ」に関するテーマで大変興味深く聞く事が出来ました。
28	演者の先生方が分かり易く話してくださったので、助かります。
29	とりあえず視点がもっともだと思ふことばかりだったが、では「どうすればよいのか？」とあらためて強く感じた。結論は出なかったが。
30	遺伝子組換えに限らず、情報との接し方、発信の仕方について、大変参考になりました。ありがとうございました。
31	他の学生(特に将来教員となる学生)にも講話を聞かせたいと強く思いました。今日4回目しか参加できませんでしたが、全てのシンポジウム及び懇親会にも出席したいと感じました。
32	このような内容を、もっと一般の人に知ってもらいたいです。

6	今後、食の安全・安心の分野で、どのようなテーマのシンポジウムを希望されますか？
1	添加物についても問題
2	アクリルアミドのように、これまで一般的と思われてきた原料・加工・調理により生じる危害物質についてのリスコミ
3	今回のように現状の問題と、未来を見すえた問題をテーマにすると良いと思う。
4	GMO、添加物等が品質向上と美味しさ向上となっている事のシンポジウム
17	サプリメント、健康食品、医薬部外品
18	食品添加物の安全性について
20	HACCP制度化を検証する(消費者に安心・安全は伝わるか?)
23	SNSとファン作りでしょうか。それと民間のオピニオンリーダーの養成なのでしょうか?⇒主観リスク誤認をつかって反対派と安全論からかくりするとか。
24	食以外のリスクと食のリスク(大きくはない)の対比をしてはどうでしょうか?
25	表示(商品の)はコミュニケーションツールとして重要。でも読めない、読んでいない人も多いと感じている。
26	原料原産地表示
28	ニセ科学が横行しています。この辺りをテーマに出来ませんか?
31	遺伝子組換え(世界視点から見て)
32	遺伝子組換え食品、ゲノム編集利用食品、食品添加物



7	消費者市民のリスクリテラシー向上につながるリスコミのために、いま何が必要でしょうか？
2	リスクリテラシー向上のための学校教育が必要だと思います。
3	正しいことを知って、議論できる場が必要だと思う。
4	子ども、女性への根気よいPR
7	インフルエンサーに働きかけていくことの大切さを今回あらためて学びました。
9	リスコミの場が少なすぎるのではないのでしょうか。
16	大人は、その人自身が信頼する人の発信する情報を信じることが多いが、子どもは親の言動、特に母親の意見で左右される。大人への特に母親への情報発信、たとえば妊娠中の母親学級の時などに食の事を伝えるなど。学校教育も大切だと思う。
18	いわゆる自然派の人たちの幻想を、本人たちの自尊心を傷つける事なく、科学的真実を伝える方法をみがく事
20	正しい知識人、ハザードが”ついた”状態で流通されていること
21	正しく理解されるような、わかりやすい情報提供
23	①わかり易い「抵抗感のない」ソフトと成功例 ②成功性は体制の参考になる ③ヒトの認知～納得の基礎的研究 ④現場を見せる(農地や工場の見学)
25	遠まわりですが、学校教育の内容を改善すること。
26	学校教育での正しい知識(ゼロリスク)の周知
28	いわゆる頭の固いバイアスのかかった消費者や小島先生とは対極にいるようなメディア(特にテレビのプロデューサー等)を招いたフォーラム
32	リスク教育、特に学校教育におけるリスクリテラシー教育が必要だと思います。